

2011年3月期(第85期)決算説明会

蛇の目マシン工業株式会社

2011年5月19日

東日本大震災に対し謹んでお見舞い申し上げます。

このたびの東日本大震災により被害を受けられた皆様に、
心よりお見舞い申し上げます。
一日も早く復興されますよう、お祈り申し上げます。

本資料で記述されている計画・予測等は、当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいておりますが、潜在的なリスクや不確実性を含んでおります。
そのため、実際の業績は、様々な要因により記述されている計画・予測等とは、大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。
なお、実際の業績に影響を与え得る重要な要因には、当社の事業を取り巻く経済環境、市場動向、為替レートの変動等が含まれます。

1. 2011年3月期 業績概要

2. 2012年3月期 計画

1. 2011年3月期 業績概要

2. 2012年3月期 計画

業績概要



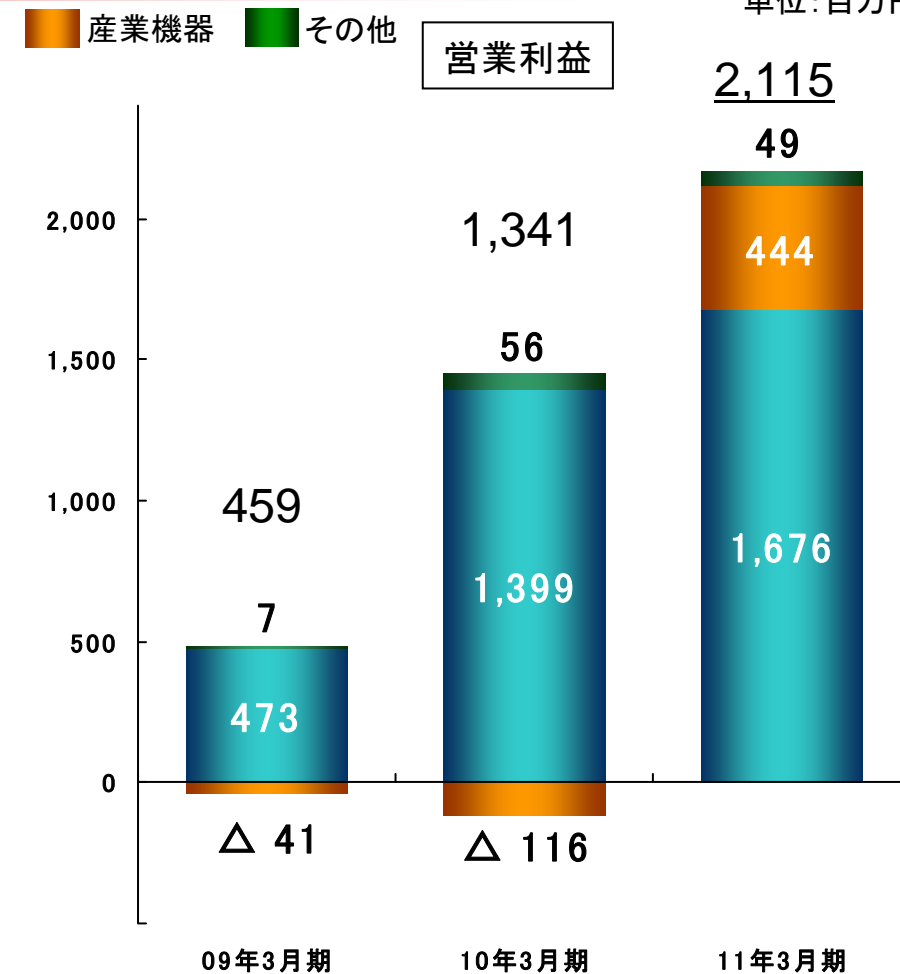
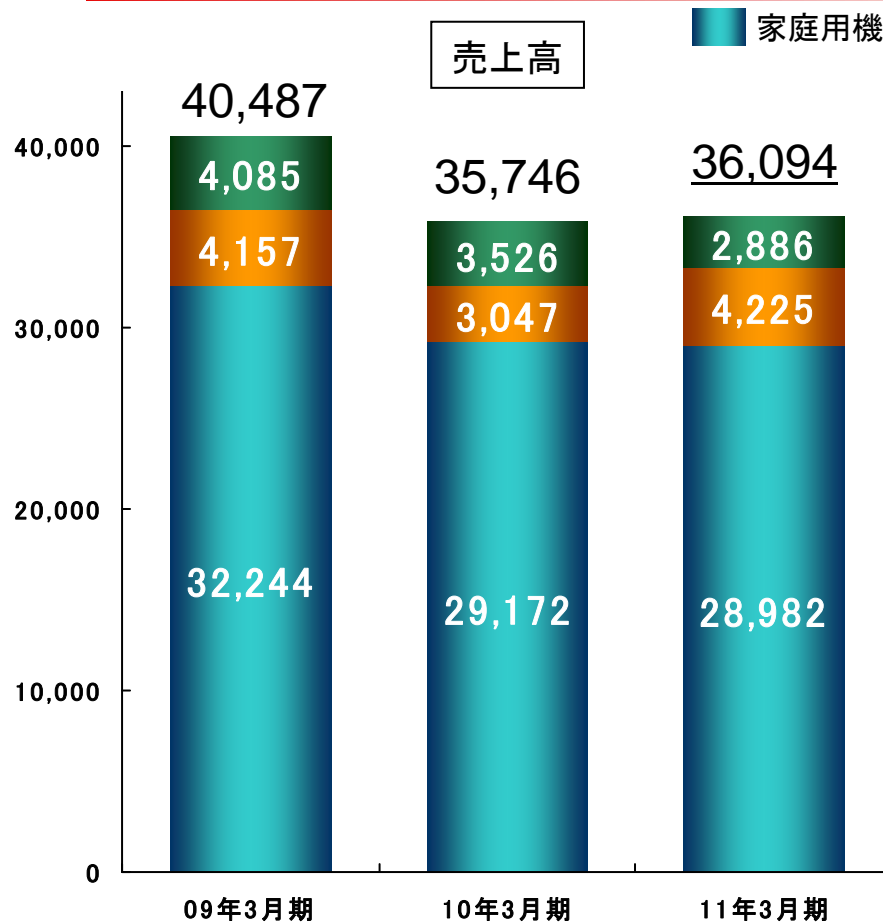
単位:百万円

	[2009年3月期]	[2010年3月期]	[2011年3月期]	増減(前期比)
売上高	40,487	35,746	36,094	348
営業利益 営業利益率	459 1.1%	1,341 3.8%	2,115 5.9%	774 2.1P増
経常利益 経常利益率	△171 -	957 2.7%	1,592 4.4%	635 1.7P増
当期純利益	△5,083	529	799	270
為替レート(円/US\$)	100.54	92.84	85.71	△7.13

リーマンショック後、2期連続で増益

セグメント別3カ年比較

単位: 百万円



* 家庭用機器売上高明細(億円)

	09年3月期	10年3月期	11年3月期
海外ミシン	228	202	209
国内ミシン	75	72	65
24風呂、 整水器等	19	17	15

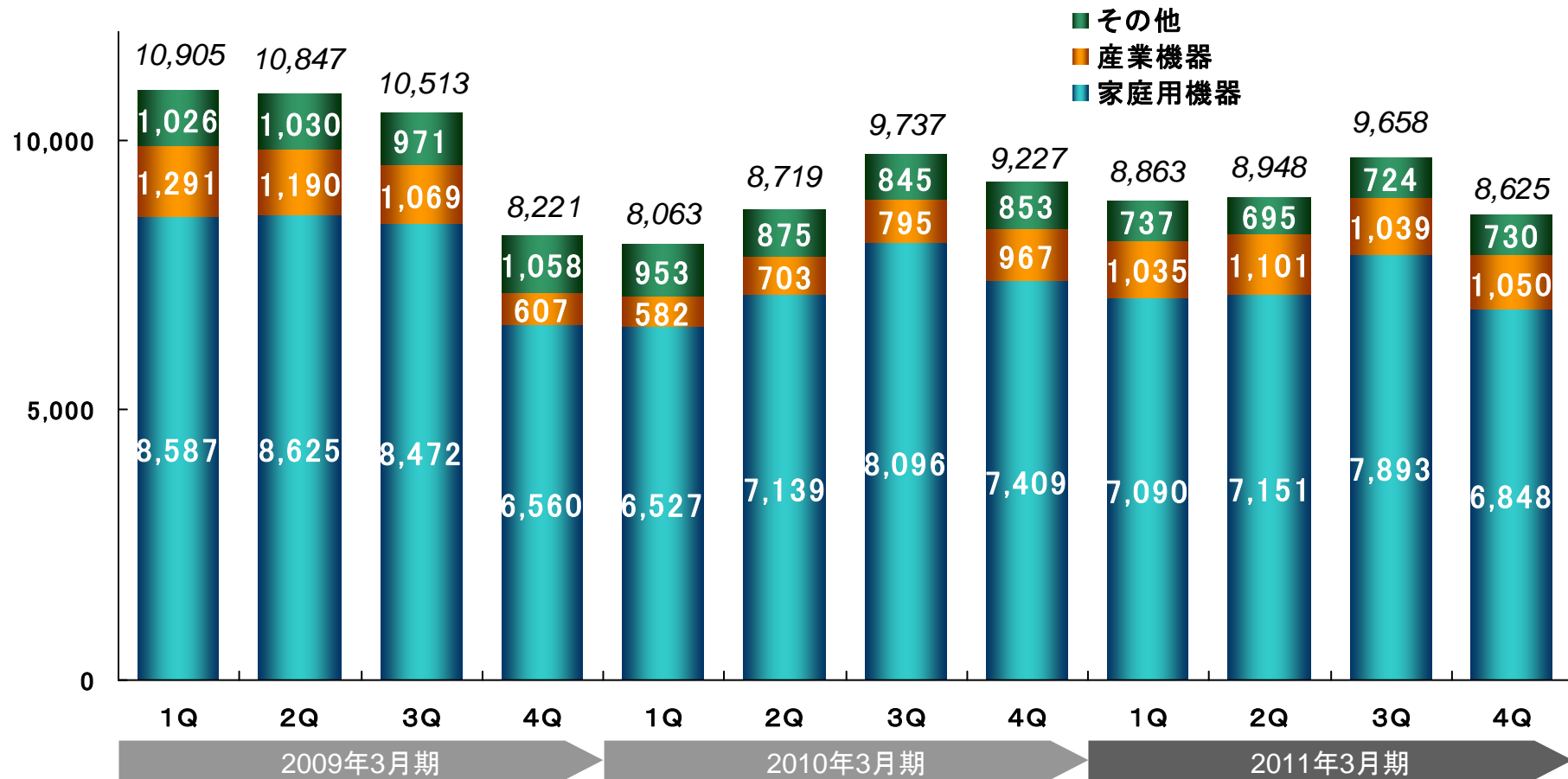
* 家庭用機器営業利益明細(億円)

※ セグメント間取引消去は含まない

	09年3月期	10年3月期	11年3月期
ミシン関連	5.6	14.7	17.7
24風呂、 整水器等	△0.9	△0.7	△1.0

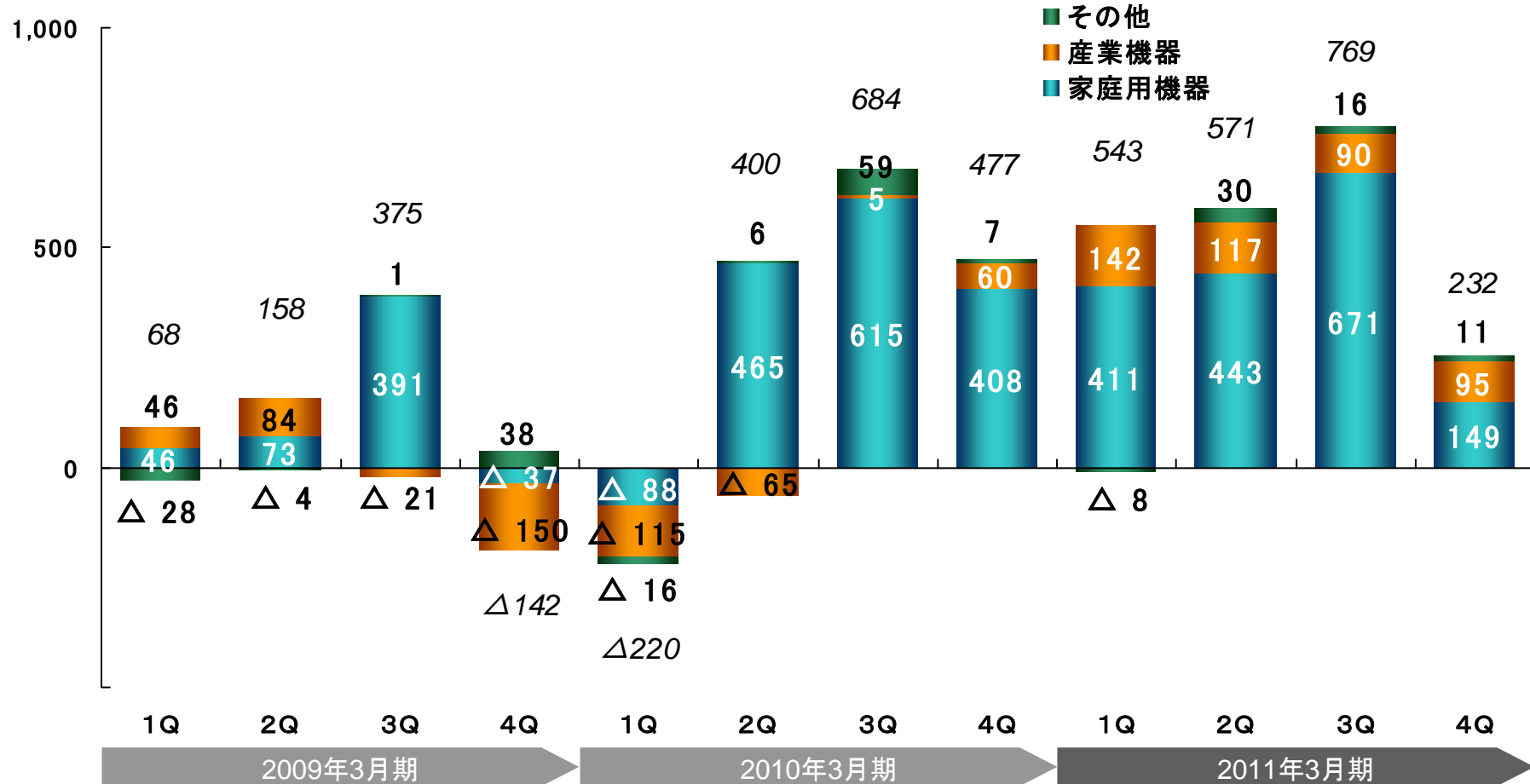
四半期別推移【売上高】

単位：百万円



四半期別推移【営業利益】

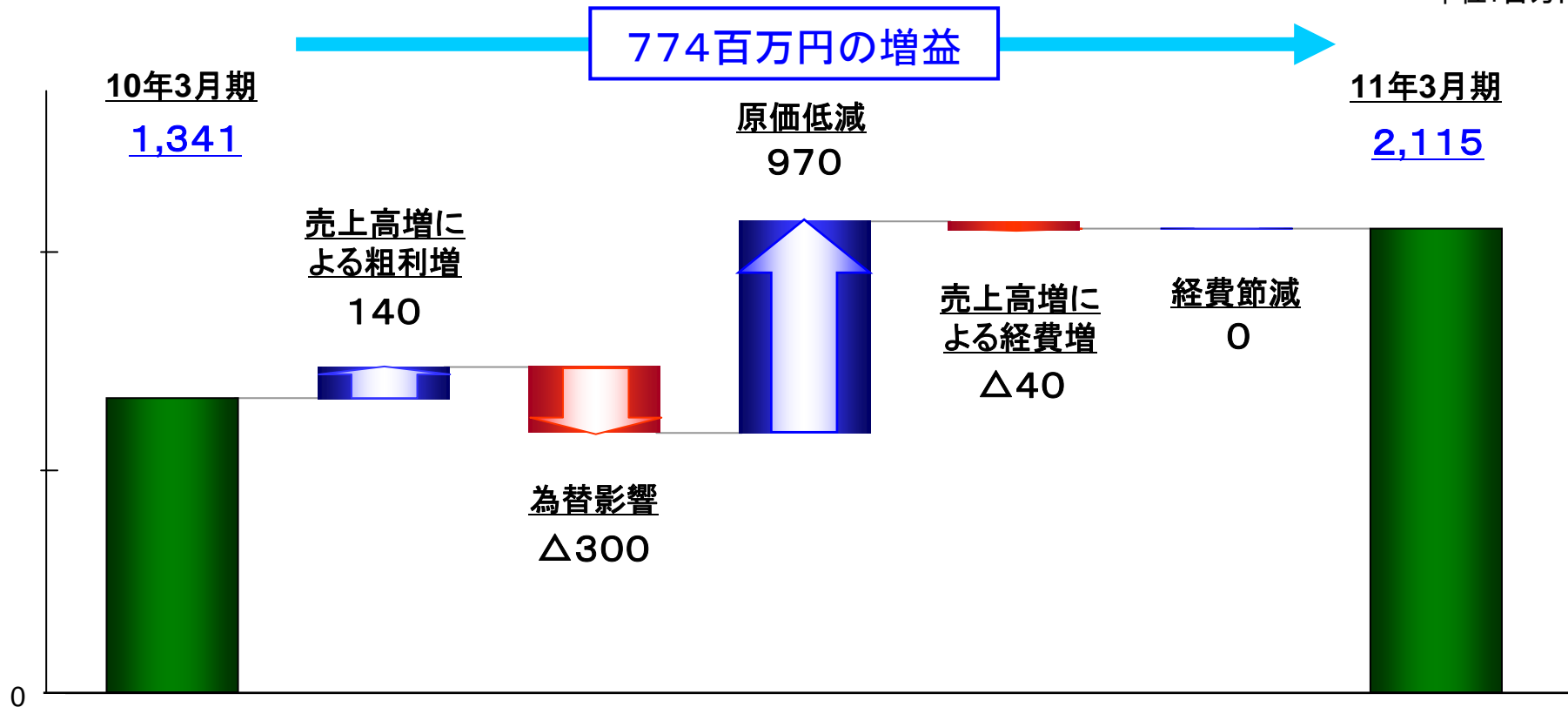
単位：百万円



※ セグメント間取引消去は含まない

営業利益の増減要因

単位: 百万円



為替は円高に振れたが、採算性の良い新機種投入効果により原価低減。

貸借対照表の状況

単位: 百万円

	2010年3月期 期末	2011年3月期 期末	増減
資産の部			
流動資産	20,162	19,385	△ 777
固定資産	30,350	29,704	△ 646
<u>資産合計</u>	<u>50,512</u>	<u>49,090</u>	<u>△ 1,422</u>
負債の部			
流動負債	20,966	16,937	△ 4,029
固定負債	15,897	18,036	2,139
<u>負債合計</u>	<u>36,863</u>	<u>34,973</u>	<u>△ 1,890</u>
純資産の部			
資本金	11,372	11,372	—
利益剰余金・自己株式	△ 3,261	△ 2,499	762
その他	5,537	5,242	△ 295
<u>純資産合計</u>	<u>13,649</u>	<u>14,116</u>	<u>467</u>
<u>負債・純資産合計</u>	<u>50,512</u>	<u>49,090</u>	<u>△ 1,422</u>

キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

	2010年3月期	2011年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,047	1,371
減価償却費	982	926
たな卸資産の増減	1,223	△ 84
仕入債務の増減	674	154
その他	△ 386	343
営業活動によるキャッシュ・フロー	<u>3,543</u>	<u>2,710</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の売却	721	185
その他	△ 569	△ 974
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>153</u>	<u>△ 789</u>
財務活動によるキャッシュ・フロー		
有利子負債の増減	△ 1,674	△ 1,806
その他	△ 18	△ 72
財務活動によるキャッシュ・フロー	<u>△ 1,692</u>	<u>△ 1,878</u>
現金及び現金同等物の期末残高	<u>6,869</u>	<u>6,792</u>

財務計数(中期経営計画比・初年度)

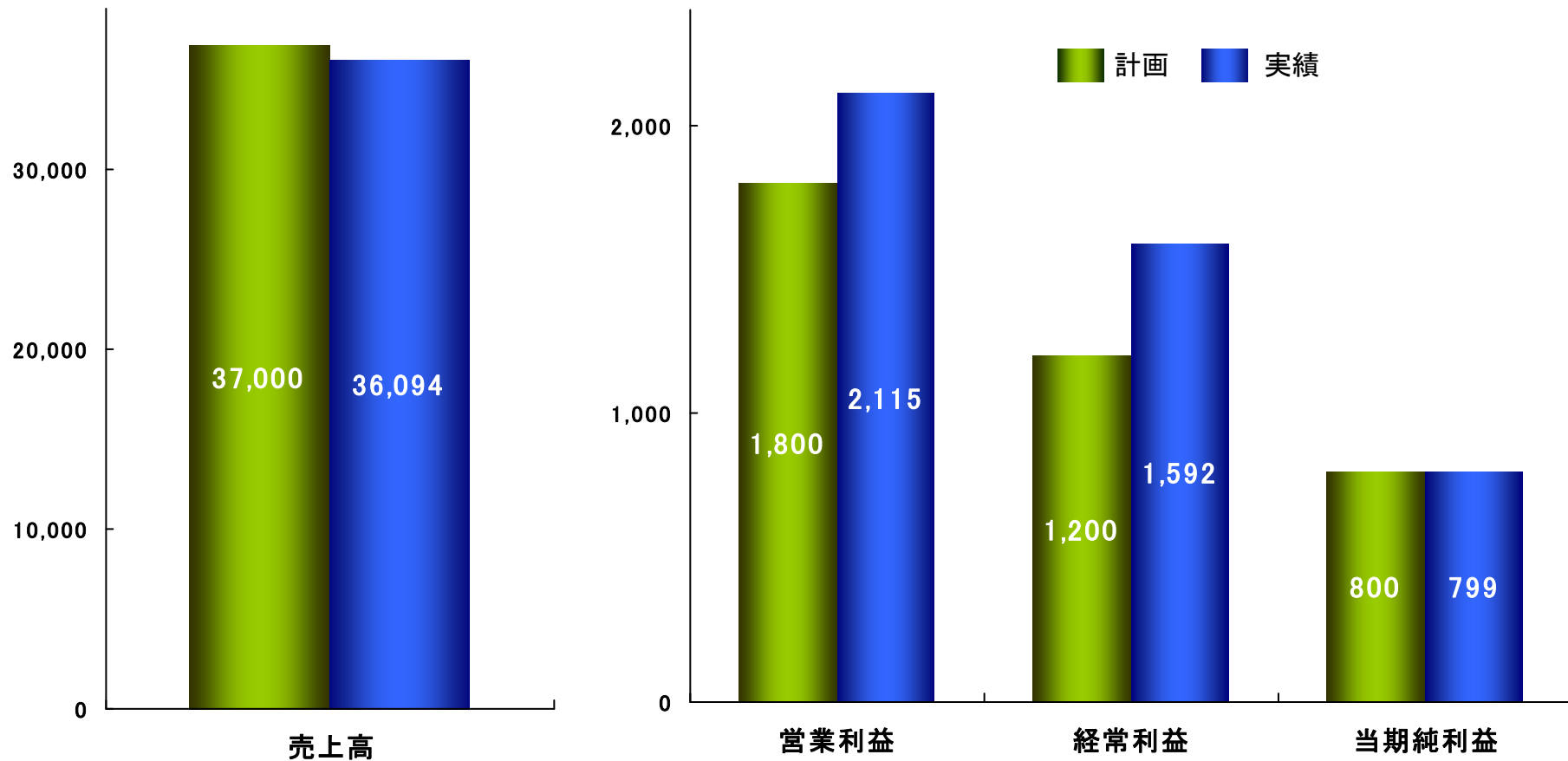
		2010/3期	2011年3月期		
		実績	中期計画	実績	差異
有利子負債	(百万円)	21,073	17,400	19,159	1,759
D/Eレシオ	(倍)	1.6	1.2	1.4	0.2
債務償還年数	(年)	7.8	6.1	6.5	0.4
インタレストカバレッジレシオ	(倍)	7.1	4.6	6.5	1.9
自己資本	(百万円)	13,060	13,800	13,603	△ 197
自己資本比率	(%)	25.9	29.0	27.7	-1.3P
ROA(総資本経常利益率)	(%)	1.9	3.7	3.2	-0.5P
ROE(自己資本経常利益率)	(%)	7.3	8.6	11.7	3.1P
棚卸資産回転期間	(月)	1.9	1.9	1.8	△ 0.1
(参考)営業利益率	(%)	3.8	4.9	5.9	1.0P
損益分岐点売上高	(億円)	332	324	321	△ 3

1. 2011年3月期 業績概要

2. 2012年3月期 計画

中期経営計画進捗状況(初年度)

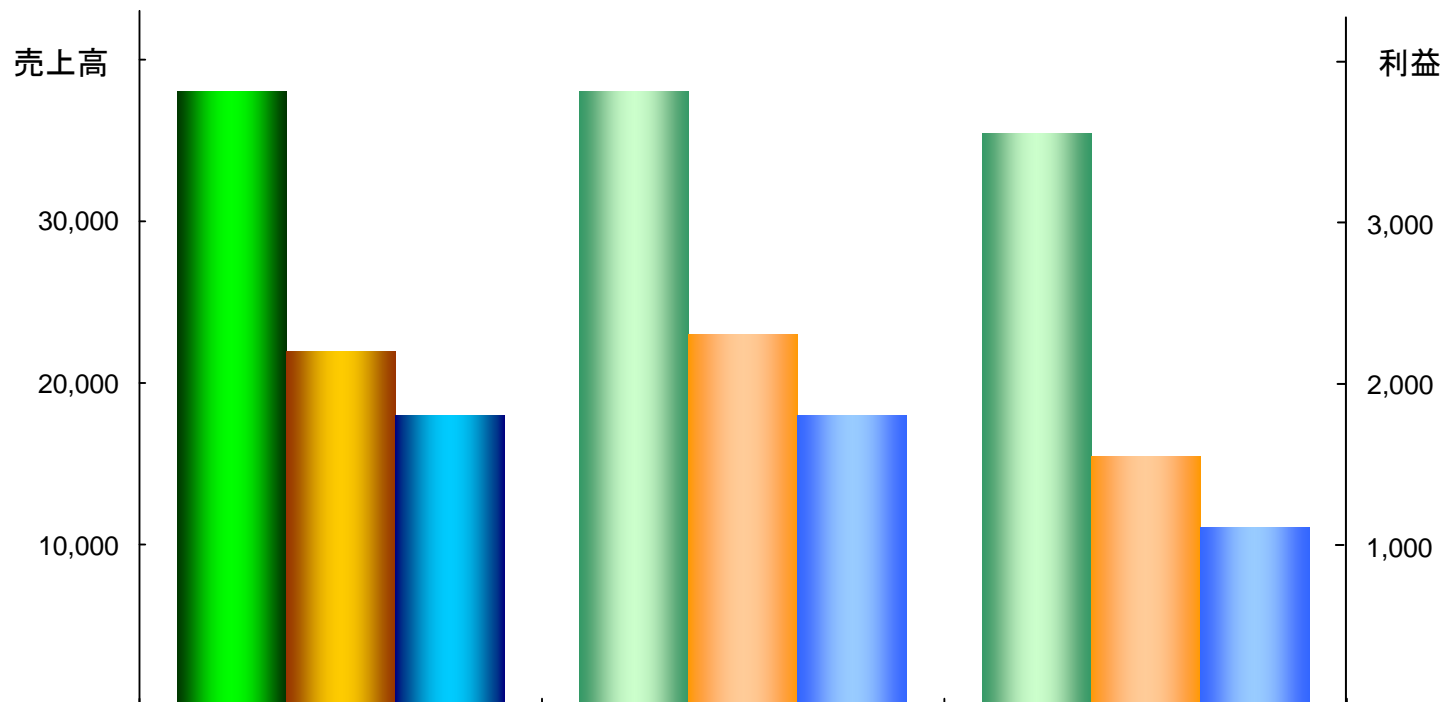
単位:百万円



売上高は円高(90円→85円)の影響もあり、計画より下回ったが、利益は計画達成。

今期見通し

単位: 百万円

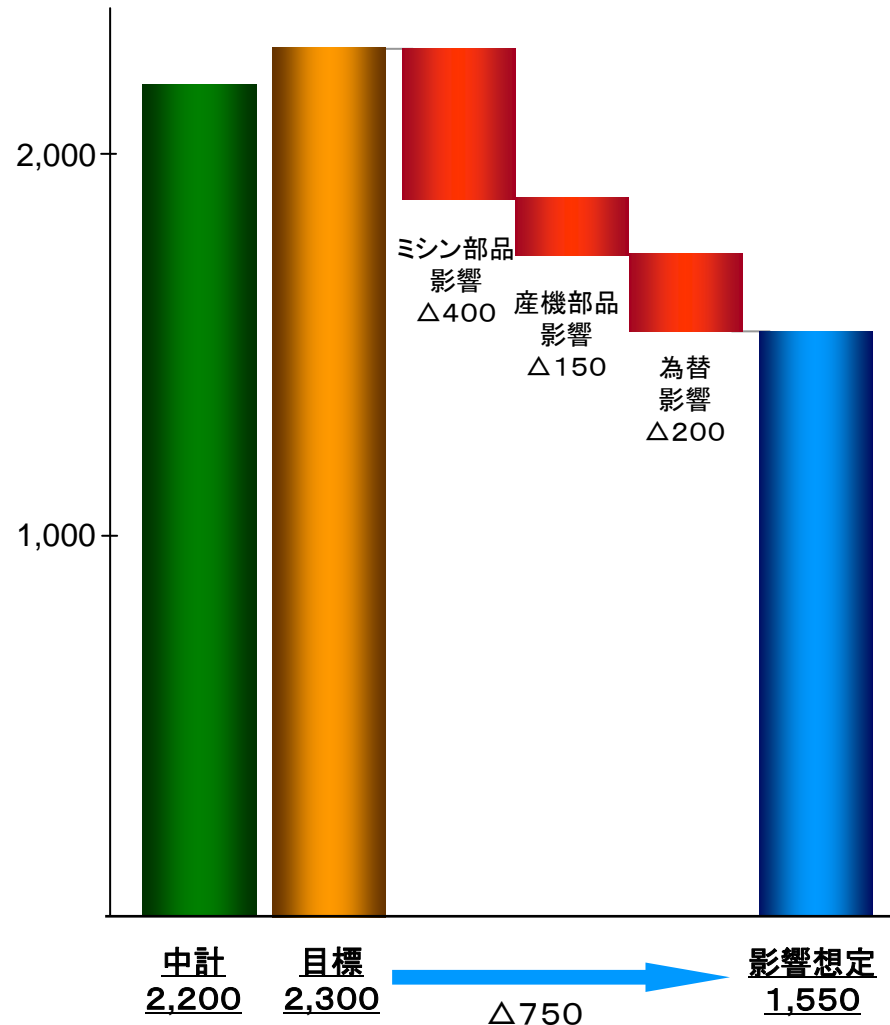


	2012年3月期			
	中期経営計画	目標	影響想定	
■ 売上高	38,000	38,000	35,500	Δ2,500
■ 営業利益	2,200	2,300	1,550	Δ750
■ 経常利益	1,800	1,900	1,100	Δ800
為替レート (円US\$)	85.00	85.00	80.00	
営業利益率	5.8%	6.1%	4.4%	

為替および震災影響による営業利益の減少要因

単位：百万円

〔2012年3月期〕



【家庭用マシン】

- ・付加価値の高い機種に使用している、マイコンの調達不足

<対策>

- ⇒ 今期投入予定の新機種分を優先
- ⇒ コネクターは代替品で対応

【産業機器製品】

- ・マイコンの調達不足
- ・ドライバーモーター部品の調達不透明

<対策>

- ⇒ マイコン基盤の設計変更

【夏場の節電対策】

- ・東京工場の成型、プレス部門の停止、6月までの作りだめで対応

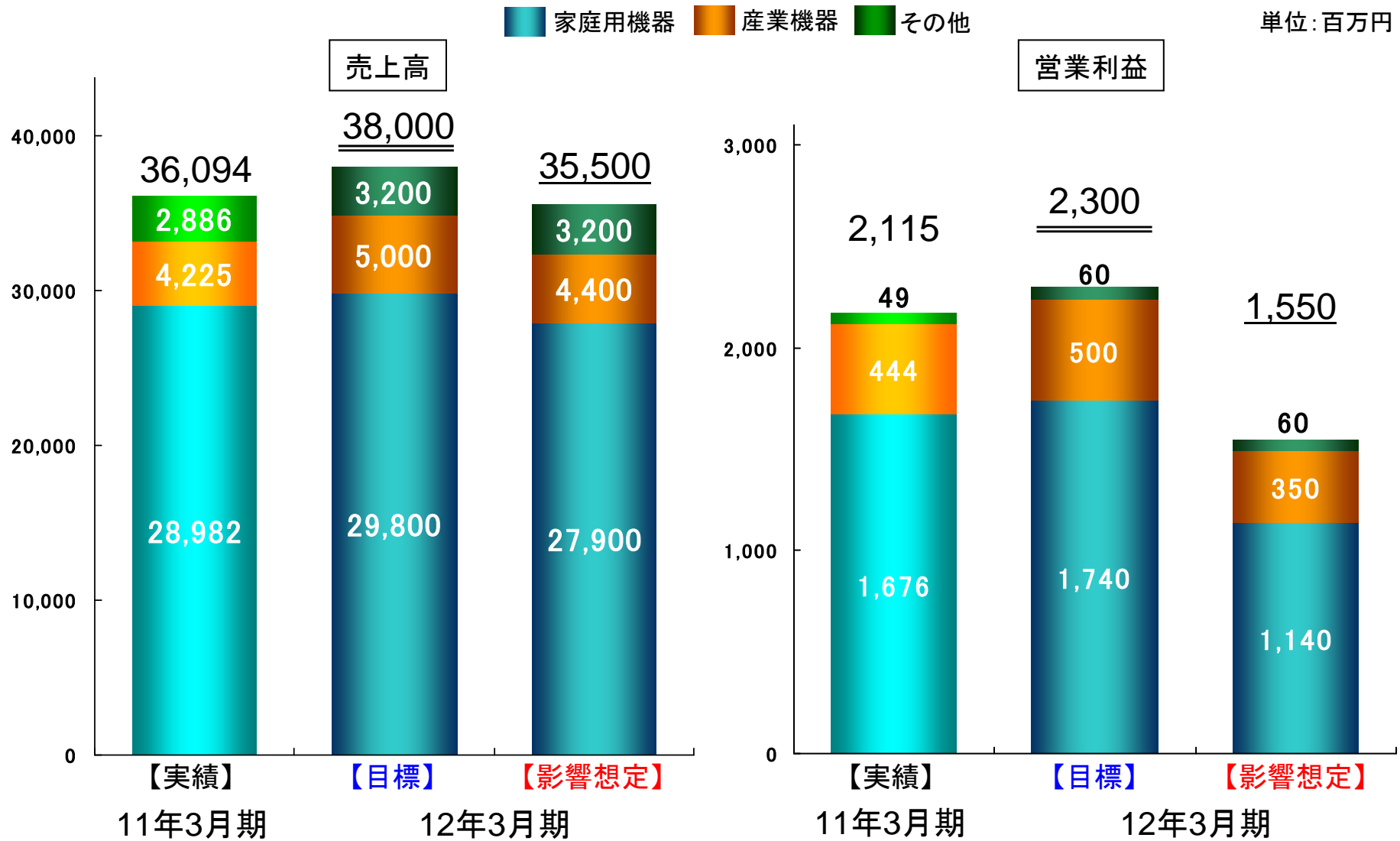
財務計数



	2012年3月期			2012年3月期 影響想定	
	中計	目標	差異	影響後	差異※
有利子負債 (百万円)	16,600	18,350	1,750	18,550	200
D/Eレシオ (倍)	1.1	1.3	0.2	1.3	-
債務償還年数 (年)	5.6	6.4	0.8	8.8	2.4
インタレストカバレッジレシオ (倍)	5.4	5.5	0.1	4.9	△ 0.6
自己資本 (百万円)	14,400	14,600	200	13,800	△ 800
自己資本比率 (%)	30.4	29.4	-1.0P	28.3	-1.1P
ROA(総資本経常利益率) (%)	3.8	3.7	-0.1P	2.3	-1.4P
ROE(自己資本経常利益率) (%)	12.5	12.8	0.3P	8.1	-4.7P
棚卸資産回転期間 (月)	1.8	1.7	△ 0.1	1.8	0.1

※影響想定との差異は目標との差異

セグメント別比較



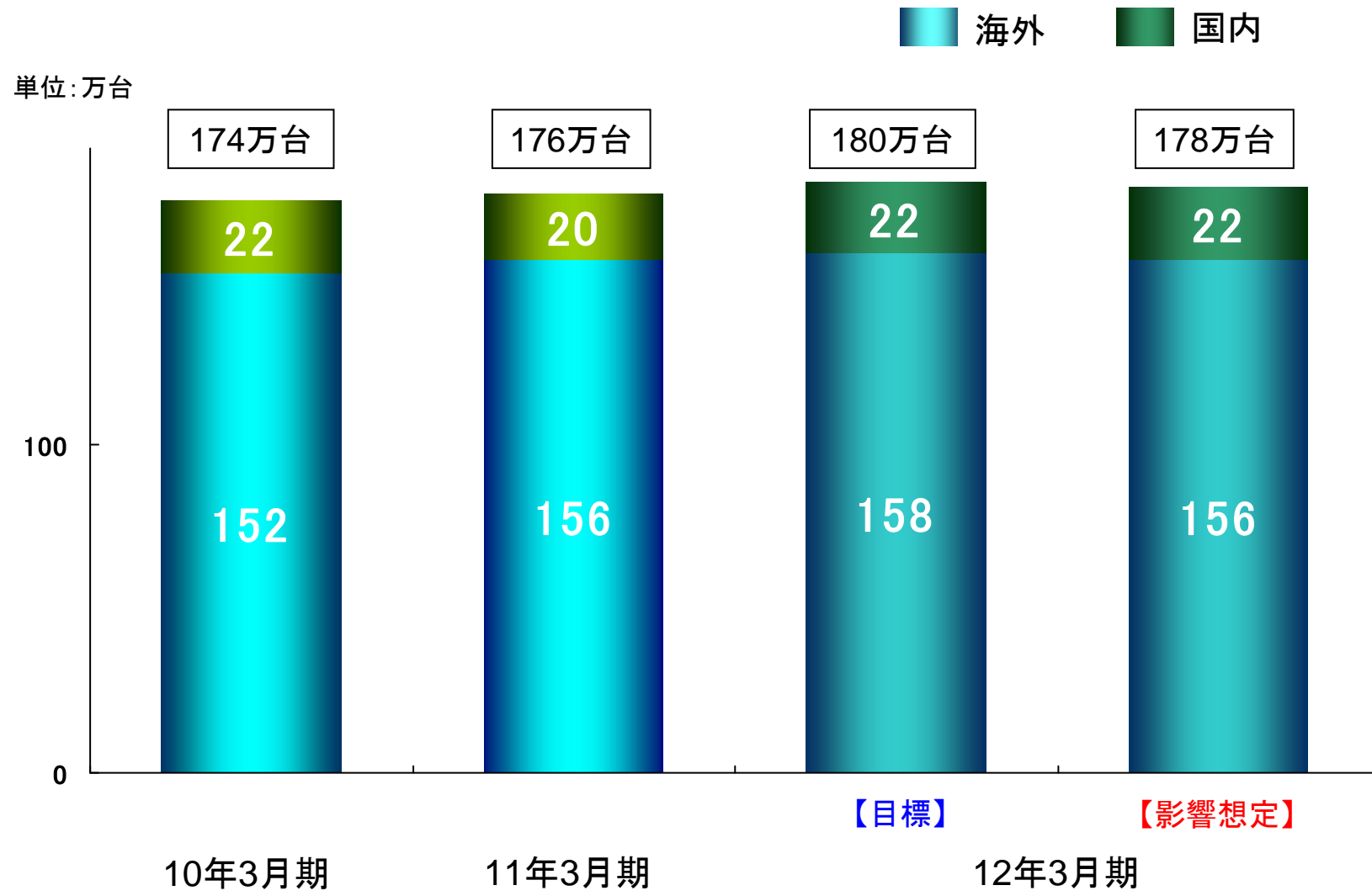
〔海外ミシン販売〕

- ・チリに「南米統括事務所」を設置。(2011年4月1日)
南米市場における拡販施策の展開と、現地販売支援を強化。
⇒目標13万台
- ・USHA社との長期業務提携に基づくインド市場での販売強化。
⇒目標12万台
- ・新機種(特に最高級機種)の市場投入。
- ・ジャノメ インターナショナル インスティテュートの開催(米フロリダ州オーランド)

〔国内ミシン販売〕

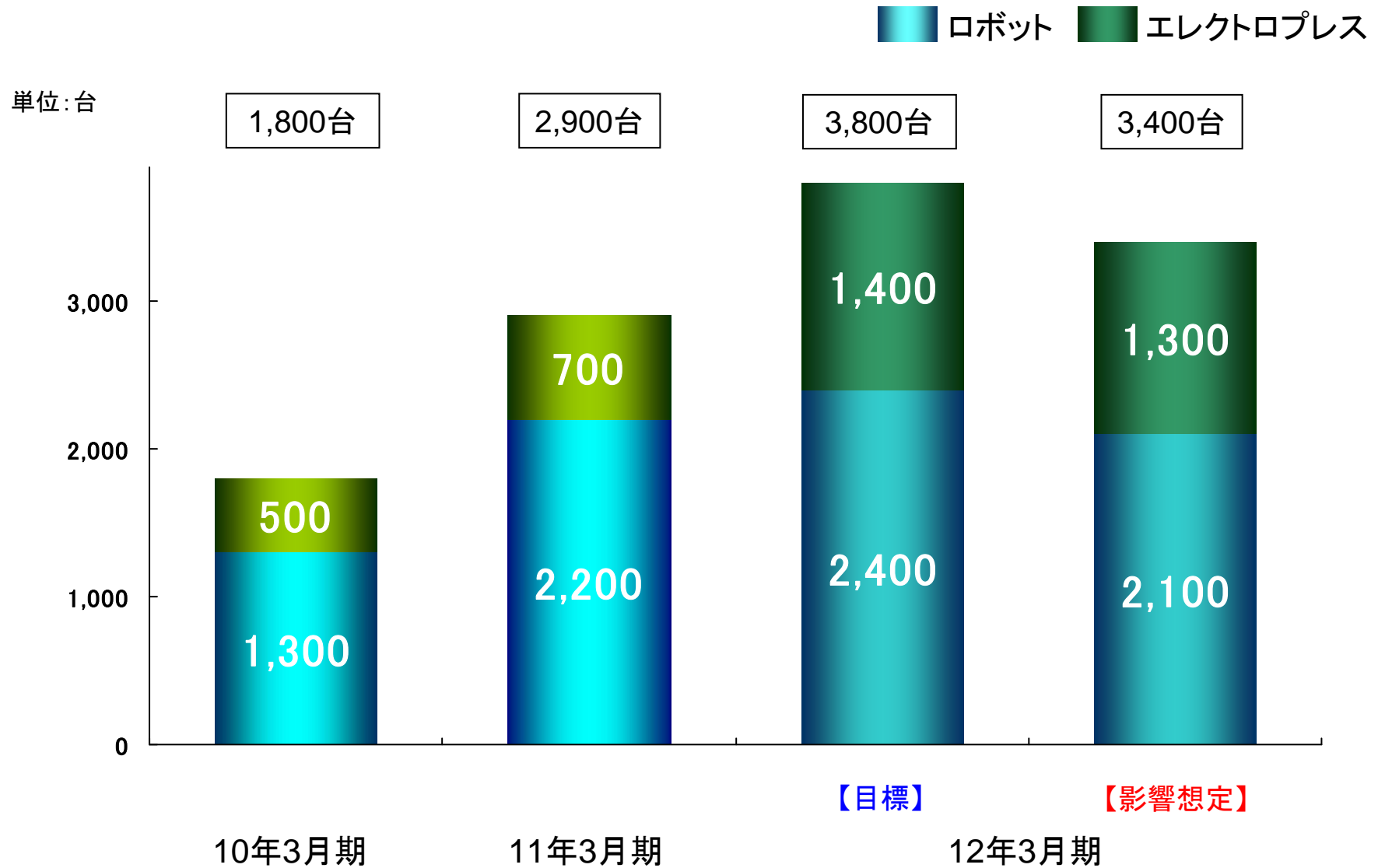
- ・製品ラインアップの再構築と、多様な販売チャネルの強化。
- ・JFC(ジャノメ・ファミリー・クラブ)の活性化。
(現時点で5地区計59の代理店が加盟)

マシン売上台数推移



- ・上海に現地拠点を設立。(2011年4月29日設立申請認可)
中国市場におけるサービス強化と販売拡大。
- ・廉価版卓上ロボット、直交ロボット、JP-Sシリーズの製品ラインアップ拡充。
- ・ねじ締め、ボードカッター分野における卓上ロボットの販売拡大。
- ・海外販売会社の活動強化と本社のバックアップ体制の充実。

ロボット・エレクトロプレス売上台数推移



生産部門・研究開発部門

〔東京工場〕

- ・生産レイアウト変更等による、産業機器製品の生産効率UP。(目標10%UP)
- ・海外部品調達率UP。(17%→目標25%)
- ・生産機種、製品を見直し、一部生産の台湾移管。

〔ジャノメ台湾〕

- ・ショートライン化の推進による生産性向上。
- ・塗装設備の導入等によるコストダウンの徹底。
- ・生産機種を見直し、低価格機種のタイ生産移管。

〔ジャノメタイランド〕

- ・調達部品コストの削減。
- ・2013年3月期での生産120万台体制構築へ向けた見直しと改善。

〔研究開発部門〕

- ・人員の拡充による開発スピードアップ。
- ・基礎研究開発の充実。



今後ともご支援、ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

蛇の目ミシン工業株式会社